

都市再生整備計画(第4回変更)

なかがわかはん
那珂川河畔地区

とちぎ おおたわら
栃木県 大田原市

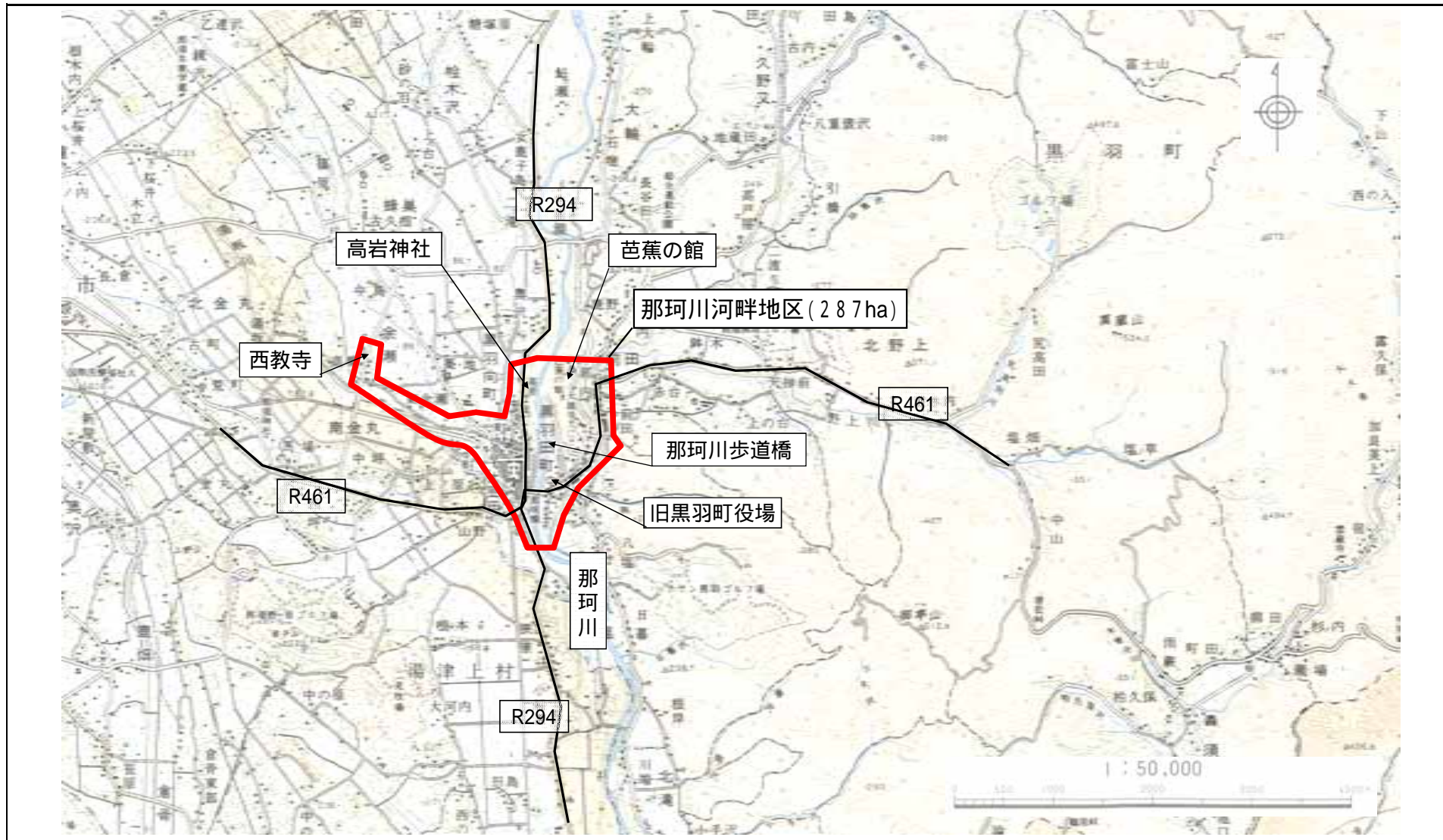
平成21年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
<p>整備方針 界隈性の創出 - 黒羽らしさの演出 - 地区内の自然・歴史・文化施設を基盤にそれらをに活用し、整備する一方、特有の情緒雰囲気をもつ街角の修景を行い、古いものと新しいものを融合させ、地域性や郷土性が連動した黒羽らしいアイデンティティを確立する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・街角文化拠点整備事業 ・芭蕉公園 旧浄法寺邸整備事業 ・西崖下水辺の森公園整備、桜馬場公園整備 ・街角修景整備事業 ・大宿街道の修景、田町交差点
<p>整備方針 回遊性の創出 - 散策道・緑道のネットワークづくり - 「川音を聞きながらまち並みの風景を楽しむ道」「近隣の人々と挨拶を交わしながらウォーキングを楽しむまち」「史跡・文化財・芭蕉の足跡を訪ねる歴史や文化にふれるまち」などを整備・ネットワーク化し周遊客が安心して楽しく散策できるようにし、また地域住民が、この地域で暮らす喜びを実感できる付加価値を生み出すようにする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・プロムナード整備事業 ・芭蕉プロムナード、堂川プロムナード等 ・散策道案内標識整備事業 ・散策道休憩所整備事業 ・市道西崖線整備事業
<p>整備方針 にぎわい性・魅力性の創出 - 観光交流人口の拡大と商店街の活性化 - 観光交流人口の拡大が地域活性化の大きなカギである。人を誘い込める各種街角スポットの整備と共に、商店街情報・観光情報・イベント情報をいかに戦略的に発信するかを調査・研究する。 また、住民が主体となり、地場の産品を活かした魅力ある商品の開発・研究活動を推進する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・商店街活力アップ事業 ・戦略的な観光情報の発信、物産品、魅力ある商品の研究・開発 ・黒羽観光交流センター整備事業
<p>その他 今後、必要に応じて事業エリアの見直しや事業規模の拡充について引き続き検討をしてゆく。 事業計画期間終了後については、事業期間を通じた活動の中で発生してくる住民を中心としたまちづくり組織、ボランティア組織等の意向を踏まえつつ、連携を図りながら那珂川河畔地区の活性化活動支援の継続を予定している。</p>		

都市再生整備計画の区域

那珂川河畔地区(栃木県大田原市)	面積	287 ha	区域	黒羽田町地区、黒羽向町地区、前田地区の一部、余瀬地区の一部
------------------	----	--------	----	-------------------------------



那珂川河畔地区(栃木県大田原市) 整備方針概要図

目標	地域資源を活用して、「界隈性、回遊性、魅力性」をイメージコンセプトに、地域住民と共に愛着や誇りの持てる魅力あるまちづくりを行うことにより、地域の活性化を総合的に推進する。	代表的な指標	観光客入込数の増加 (人/年)	470,834 (16年度)	494,500 (20年度)
			歩行者交通量の増加 (人/年)	60,000 (16年度)	7,800 (20年度)
			ボランティア参加者数の増加 (人/年)	250 (16年度)	325 (20年度)

